

平成 25 年度の活動とりまとめ

1. 海部会の目標とテーマ（課題）

海部会の 3 ヶ年の活動目標とテーマは以下を以下に示す。

（目標） 流域圏でつくる「親しみやすい豊かな海」の実現

（3 ヶ年の目標）

- 海への理解はまだまだ浅く、フィールドワークを主体とするWGや勉強会などの実施により、積極的な情報発信・情報共有を図り、流域圏市民の海への理解を深める。
- 海に大きく影響する流域圏問題（土砂、ごみ等）を流域圏市民全体で問題意識を共有し、話し合いを進め、様々な主体ができることより実践する。また、将来的に解決に結びつけるためのヒントを関係者の話し合いによってそれぞれの考え方を整理していく。

<テーマ>

<解決手法>

ごみ・流木の問題

被害軽減：干潟・水辺のごみ、流木対策検討に向けた調査

豊かな海の生物調査

理想追求：市民、学識等の様ざまな調査より学習・分析

海と人の絆再生

人づくり：心理的・物理的アクセス改善、学校等との連携

干潟・ヨシ原再生

自然再生：川と海の連携による干潟再生

2. 今年度の活動実績

今年度の活動実績は、以下に示すとおりである。

全 9 回の WG を実施し、そのうち 6 回はごみ・流木調査、干潟生き物調査等、現地での活動を行った。

| 日時 | 場所 | 参加人数 | 活動内容 | |
|--------------------------|---|------|---------|------------------------------------|
| 5月20日(月) 15:00-17:00 | ・西尾市役所 5F 53ABC 会議室 | 20名 | 第8回 WG | ・H25 年度活動計画について |
| 6月22日(土) 13:00-15:00 | ・西尾市文化会館 2F 202 号会議室 | 13名 | 第9回 WG | ・H25 年度活動計画について ・次回 WG について |
| 7月20日(土) 9:15-15:35 | ・佐久島白浜海岸 ・佐久島クライガールデン | 13名 | 第10回 WG | ・ごみ・流木調査プレ調査 ・ふりかえり |
| 8月5日(月) 9:45-14:45 | ・東幡豆町天然干潟 ・西浦地区人工干潟 ・幡豆支所 2F 中会議室 | 17名 | 第11回 WG | ・干潟生き物調査 ・ふりかえり |
| 9月9日(月) 9:10-15:40 | ・三河湾内 ・愛知県水産試験場 2F 研修室 | 21名 | 第12回 WG | ・三河湾水質調査（貧酸素水塊 状況の調査） ・ふりかえり |
| 9月27日(金) 10:20-12:00 | ・矢作川左岸 14.5k 付近 | 9名 | 第13回 WG | ・ごみ・流木調査本調査 |
| 10月7日(月) 11:25-13:00 | ・矢作川河口左岸 0.6k 付近 | 14名 | 第14回 WG | ・干潟生き物調査 |
| 11月27日(水) 10:00-17:30 | ・矢作ダム上流及び土 砂受入地 | 22名 | 第15回 WG | ・流入土砂状況、処理状況の見学 ・ふりかえり |
| 12月26日(木) 14:00-16:00 | ・西尾市役所 5F 52 会議室 | | 第16回 WG | ・今年度の活動とりまとめ ・来年度の活動方針について |

3. 活動の成果と課題

3.1 海部会の活動成果と課題

(1) 活動成果

1) 個別作業 WG による運営

〈運営方針からみる取り組み状況〉

- ・ 4つの課題テーマについて、**それぞれ作業WGを立ち上げ、内容の検討**を行う。 → △
- 個別WGは月1回ペースの6回程度の開催を想定。
- ・ 目標としてきた海部会のメンバーも充実してきたが、まだ、相互の活動情報が十分に理解していない状況もあるため、**海地域内での活動・情報交流の推進を当面の取り組み**とする。 → ○
- ・ また、今後、個別WGのコアメンバーを定め、事務局や関係団体等との調整役を務めていく。 → ×

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・ テーマ毎の作業WGは立ち上げられなかったが、月1回ペースでWGを開催でき、海地域内での活動・情報交流の推進につながった。

2) 現場での体感を重視した取り組みを実行

〈運営方針からみる取り組み状況〉

- ・ 海への理解を深めるため、**課題に関係する当事者の参加**を積極的に進める → ○
- ・ 課題に係わる**好事例**については、**矢作川流域圏の外の情報も現地に赴きながら積極的に収集**し、流域圏での適用を検討する → ×

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・ ごみ・流木調査、干潟生き物調査、三河湾貧酸素水塊調査、矢作ダム流入土砂見学等、現場での体感を重視した取り組みを行うことができた。
- ・ この成果を次年度にどうつなげていくかが課題である。

(2) 運営上の課題





今年度は、現地での活動を含む様々な活動を多く実施できたという成果がある一方、運営が事務局中心であり、海部会としての主体的な動きが見られなかったという課題がある。

3.2 各テーマの活動成果

今年度の活動成果について、海部会のテーマに沿って以下にまとめる。

(1) テーマ1：ごみ・流木の問題 活動成果（※詳細は NL 参照）

〈運営方針からみる取り組み状況〉

- ・次年度、1回目のWGでは、出水後、速やかに調査実施が可能なよう各管理者、関係自治体、関係団体等の**調査実施体制を構築に向けた話し合いを進める**  △
- ・2回目のWGでは、矢作古川河口部、佐久島等の**調査提案箇所での試行的な調査実施（訓練）**や、その他の海岸清掃のタイミングに合わせた調査実施を検討  ○
- ・2ヶ年目以降は、管理者の処理が行き届かない流木ごみの再漂流防止のため、市民活動での処理方法や再利用ニーズなどを調査（個々に情報を持ち寄り）  ×
- ・県が進めるごみMAPへの調査結果の活用検討など次年度以降にも引き続き、様々な関係者との連携を検討していく  ×

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・佐久島、矢作川河口部での試行的な調査を実施することができた。
- ・合わせて調査票についても改訂することができた。
- ・一部の各管理者、関係自治体、関係団体等が集まり調査を実施することができたが、調査実施体制の構築は不十分である。様々な箇所で様々な団体による合同調査が未実施。また、それに伴う事務局による調査結果の集約も未実施。

■具体的な成果イメージ

(改訂前調査票)

調査票 (1) (案)

| | | |
|----------|-----------|---------|
| 基本情報 | | 備考 |
| 調査日 | 平成 年 月 日 | |
| 調査時刻 | 午前・午後 時 分 | |
| 調査地点名 | | |
| 調査地点 k p | () Kp | 河川調査の場合 |
| 調査者 | | |
| 調査地点 | (地点に○) | |

調査票 (2) - 1 (案)

| 流木調査項目 | 調査地点 () | | |
|--------------------------|------------------|------------------|-------------------------|
| 流木等の漂着状況 | 流木・流木の混在割合 | | |
| | 灌木 (低木) % | 流木 % | その他 (分類不能) % |
| 流木の特徴を チェック | A. 漂着物の状況 (時間経過) | () | 代表地点 10×10 m 四方の目視による内訳 |
| | B. 人工林・自然林、その他の別 | () | — |
| 状況写真 | (遠景) | (近景) | |
| | 樹種が判別できたものの名前 | ・ ・ ・ ・ | |
| 調査総評 コメント欄 | | | |
| 現場で感じた 解決のための アイデア | | | |

流木の特徴をチェック

| | | |
|------------------|---|------------------------------|
| A. 漂着物の状況 (時間経過) | 1 | 樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの |
| | 2 | 樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの |
| B. 人工林・自然林、その他の別 | 1 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林 |
| | 2 | まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木 |
| | 3 | 切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの |
| | 4 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等 |
| | 5 | その他 () |

※調査票は、実施の結果を受けた改善提案に基づき、改良・反映の PDCA サイクルにて運用。

調査票 (2) - 2 (案)

| ゴミ調査項目 | 該当欄にチェック | 調査地点番号 () | |
|--------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 人由来ごみ ゴミの種類 | チェックシート | 発見できたごみ | |
| | 生活系ごみ | <input type="checkbox"/> 1. 飲料用プラボトル | <input type="checkbox"/> 7. くつ、サンダル |
| | | <input type="checkbox"/> 2. 食品の包装・容器 | <input type="checkbox"/> 8. 苗木ポット |
| | | <input type="checkbox"/> 3. 生活雑貨 | <input type="checkbox"/> 9. 飲料ガラス瓶 |
| | | <input type="checkbox"/> 4. ふた、キャップ | <input type="checkbox"/> 10. おもちゃ |
| | | <input type="checkbox"/> 5. 袋類 (農業用以外) | <input type="checkbox"/> 11. ライター |
| | | <input type="checkbox"/> 6. 飲料缶 | <input type="checkbox"/> 12. その他生活系 |
| | 漁業系ごみ | <input type="checkbox"/> 13. 漁業系 | |
| | 事業系ごみ | <input type="checkbox"/> 14. 木材等 | <input type="checkbox"/> 15. 農業、肥料袋 |
| | | その他 | <input type="checkbox"/> 16. 硬質プラスチック片 |
| 上記以外 | <input type="checkbox"/> 17. 発泡スチロール片 | <input type="checkbox"/> 20. 金属片 | |
| | <input type="checkbox"/> 18. シート、袋の破片 | | |
| | <input type="checkbox"/> 名称: () | <input type="checkbox"/> 名称: () | |
| ゴミの量 | ランク () | 目視・写真判定可 | |
| 発生場所の参考記載の有無 | ・住所、電話番号、その他の記載 () | | |
| 状況写真 | (遠景) | (近景) | |
| | (改訂後調査票) | | |
| 調査総評 コメント欄 | | | |
| 現場で感じた 解決のための アイデア | | | |

調査票 (3) (案)

生き物へ影響のあるゴミ清掃・調査 作業表

| | | |
|--------|----------------------|-----|
| ■作業の概要 | 記録者に○ | |
| 実施日: | 調査者名: | |
| 清掃場所: | | |
| 天候: | 最大干潮時間: | 潮位: |
| 作業時間: | ~ | |
| 環境: | 堤防・岩場・ヨシ原・干潟・その他 () | |
| 作業範囲: | | |

■1 m 以内調査

| 生物に影響するゴミ | 個数 | その他ゴミ | 個数 |
|------------------------|----|----------------------|----|
| 発泡スチロール (片手で拾えるサイズ) | | ペットボトル | |
| ガラス破片 (手で拾えるサイズ) | | ビン類 | |
| プラスチック破片 (手で拾えるサイズ) | | 空き缶 | |
| 微細ゴミ類 (レジンベレットを含む)*1 | L | ガスボンベ | |
| シート状のゴミ (ビニール袋・布・衣類など) | | スプレー缶 | |
| 釣り具 (釣り針・釣り糸) | | ガラス・陶器 (食器など含む) | |
| 釣り具 (オモリ) | | プラスチック容器 (ボトル容器など含む) | |
| 釣り具 (ルアー・疑似餌) | | ボール | |
| 使い捨てライター | | 靴 | |
| タバコの吸い殻・フィルター | | ぬいぐるみ | |
| ペットボトルのキャップ | | 車両部品 | |
| 漁網 | | 電池 (バッテリーを含む) | |
| ロープ・ひも状のゴミ | | 電球・蛍光灯 | |

*1: まとめてリットル計算

■ゴミ回収結果

| | | | |
|----|------|----|----------------|
| 重量 | 可燃ゴミ | kg | かばん・バッグ・財布 |
| | 不燃ゴミ | kg | 花火 |
| | | | 家電・家具 |
| | | | ゴミ製品 (タイヤ・ゴム板) |
| | | | 木製品 |
| | | | 雑誌・本 |

メモ:

(改訂後調査票)

改訂箇所

- ・「調査票 (2) -1」について、灌木・流木の区別はつかないので、「山からの発生した流木」、「川から発生した流木」、「川から発生した流木のうちヨシ」の3つに分類した。
- ・「調査票 (2) -2」について、生物影響ごみの調査票と一体化させた。
- ・生活系ごみに「2. 食品の包装・容器」にトレーを追加。
- ・生活系ごみの「3. 生活雑貨」を「12. その他生活系」に統合。
- ・生活系ごみに「紙パック」を追加。
- ・生活系ごみの「8. 苗木ポット」を事業系ごみに修正。
- ・生活系ごみの「7. くつ、サンダル」、「10. おもちゃ」などの分類を削除。
- ・漁業系ごみに「釣り具 (釣り針、釣り糸)」、「釣り具 (オモリ)」、「釣り具 (ルアー等)」を追加。

調査票 (2) -1

| 流木調査項目 | 発生源別の流木の混在割合 | | | 調査地点 () |
|------------------|--|---|--------|------------------------|
| 流木等の漂着状況 | 山 | 川 | 川 (ヨシ) | 代表地点 10×10m 四方の目視による内訳 |
| | % | % | % | |
| 流木の特徴をチェック | A. 漂着物の状況 (時間経過) | | | () |
| 状況写真 | B. 人工林・自然林、その他の別 | | | () |
| | | | | |
| | (遠景) | | | (近景) |
| 樹種が判別できたものの名前 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ | | | |
| 調査総評コメント欄 | | | | |
| 現場で感じた解決のためのアイデア | | | | |

流木の特徴をチェック

| | | | |
|------------------|---|------------------------------|--|
| A. 漂着物の状況 (時間経過) | 1 | 樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの | |
| | 2 | 樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの | |
| B. 人工林・自然林、その他の別 | 1 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林 | |
| | 2 | まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木 | |
| | 3 | 切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの | |
| | 4 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等 | |
| | 5 | その他 () | |

※調査票は、実施の結果を受けた改善提案に基づき、改良・反映の FDCA サイクルにて運用。

調査票 (2) -2

| ゴミ調査項目 | 該当欄にチェック | | 調査地点番号 () | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------|
| 人由来ごみの種類 | チェックシート | 発見できたごみ | | | |
| 生活系ごみ | <input type="checkbox"/> | 1. 飲料用プラボトル | <input type="checkbox"/> | 6. 飲料缶 | |
| | <input type="checkbox"/> | 2. 食品の包装・容器・トレー | <input type="checkbox"/> | 7. 飲料ガラス瓶 | |
| | <input type="checkbox"/> | 3. 紙パック | <input type="checkbox"/> | 8. ライター* | |
| | <input type="checkbox"/> | 4. ふた、キャップ* | <input type="checkbox"/> | 9. その他生活系 | |
| | <input type="checkbox"/> | 5. 袋類 (農業用以外)* | | | |
| | 漁業系ごみ | <input type="checkbox"/> | 10. 釣り具 (オモリ)* | <input type="checkbox"/> | 12. 釣り具 (ルアー等)* |
| | | <input type="checkbox"/> | 11. 釣り具 (針、糸)* | <input type="checkbox"/> | 13. その他漁業系 (網等)* |
| | 事業系ごみ | <input type="checkbox"/> | 14. 木材等 | <input type="checkbox"/> | 16. 農薬、肥料袋* |
| | | <input type="checkbox"/> | 15. 苗木ポット | | |
| | その他 | <input type="checkbox"/> | 17. 硬質プラスチック片* | <input type="checkbox"/> | 18. ガラスや陶器片* |
| <input type="checkbox"/> | | 19. 発泡スチロール片* | <input type="checkbox"/> | 20. 金属片 | |
| <input type="checkbox"/> | | 21. シート、袋の破片* | | | |
| 上記以外 | 名称: () | <input type="checkbox"/> | 名称: () | | |
| | 名称: () | <input type="checkbox"/> | 名称: () | | |
| ゴミの量 | ランク () | | 目視・写真判定可 | | |
| 発生場所の参考記載の有無 | ・住所、電話番号、その他の記載 () | | | | |
| 状況写真 | | | | | |
| | (遠景) | | (近景) | | |
| 調査総評コメント欄 | | | | | |
| 現場で感じた解決のためのアイデア | | | | | |

※生物への影響のあるごみ

(2) テーマ2：豊かな海の生物調査の活動成果（※詳細はNL参照）

〈運営方針からみる取り組み状況〉

- ・ハンドブック等を活用した**干潟現場見学会の実施** ○
- ・勉強会の実施による三河湾再生プロジェクト等の**総合的な海の情報共有の推進** ×
- ・ごみの生物影響に関する情報収集と共有 ×
- ・水産試験場や漁業者等との連携による調査結果などを活用した、流域圏の干潟生物等のアーカイブ作成（環境学習にも使えるパネル等の作成） ×

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・ハンドブック等を活用して、東幡豆天然干潟、西浦地区人工干潟、矢作川河口干潟（2地点）の4地点において、生き物調査を実施することができた。
- ・海部会内で、干潟生き物調査の調査手法、調査結果、とりまとめ方法を共有できた。
- ・調査後のふりかえりにより、豊かな海の目指すべき姿について、メンバーで共有できた。
- ・豊かな海を目指した具体的な検討方法、活動については今後の課題である。
- ・総合的な海の情報共有の推進、生物影響ごみに関する情報収集などについては未実施。

■具体的な成果イメージ

（調査手法）

●準備するもの

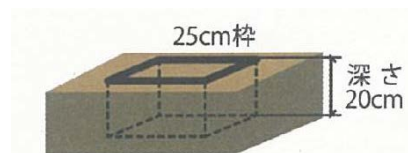
25cm×25cmの枠、スコップ、フルイ（5mm）、バット

① 調査方法説明（5分）

担当者から調査方法の説明があります。

② 泥の採取（5分）

各自、25cmの枠内で深さ20cmの泥を採取します。



③ 泥をふるう（5分）

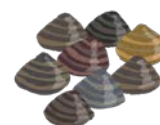
泥をフルイに入れ、水に浸けてふるいます。



④ 生物の確認（10分）

フルイに残った生物をバットに入れ、名前を確認し（次ページ参照）、調査票に記入します。

ここで、担当者からの生物についての説明もあります。



出典：環境・生態系保全活動ハンドブック（全国漁業協同組合連合会）

(調査結果 (第 11 回 WG 結果))

| 写真 | | 種類 | NO.1 | NO.2 | NO.3 | NO.4 | 合計 (個/m ²) |
|--------------------------------------|---|---------|------|------|--------|------|------------------------|
| 東 灘 豆 町 天 然 干 潟 |  | アサリ | 22 | 8 | 9 | 6 | 96~352 |
| | | シオフキガイ | 1 | - | 1 | 2 | 16~32 |
| | | アラムシロガイ | 4 | 1 | 10 | - | 16~160 |
| | | ウミニナ | 1 | - | - | - | 16 |
| | | マテガイ | 1 | - | - | 2 | 16~32 |
| | | シマハマツボ | - | - | 2 | 1 | 16~32 |
| | | マメコブシガニ | 1 | - | - | - | 16 |
| | | ヤドカリ | 1 | 1 | 3 | - | 16 |
| | | ゴカイ類 | 1 | - | - | - | 16 |
| | | アサリ稚貝 | - | - | - | 1 | 16 |
| シオフキガイ稚貝 | 7 | - | - | 5 | 80~112 | | |
| | | | | | | 9種類 | |
| 西 浦 地 区 人 工 干 潟 |  | バカガイ | 2 | 1 | 7 | 2 | 32~112 |
| | | カガミガイ | - | 3 | 3 | - | 48 |
| | | マテガイ | - | 1 | - | - | 16 |
| | | シズクガイ | 4 | - | - | - | 64 |
| | | カンザシゴカイ | 1 | - | - | - | 16 |
| | | バカガイ稚貝 | 1 | - | - | - | 16 |
| | | ガザミ脱皮殻 | - | - | 1 | - | 16 |
| | | | | | | 5種類 | |

(3) テーマ3：海と人の絆再生 の活動成果 (※詳細は NL 参照)

〈運営方針からみる取り組み状況〉





- ・海から遠のいてしまった**子どもの遊び場としての干潟づくり**を漁協等の関係者と
検討 (部分的干潟開放、水場・緑陰等の整備検討) ➡ ×
- ・生き物調査や清掃活動などの**環境学習への参加者の増加を目指した学校関係者等
との意見交換** ➡ ×
- ・海での**様々な活動者の発掘と活動支援の推進** ➡ ×
- ・海への理解を深めるための**勉強会や現地見学会の実施** ➡ ×

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・今年度、海部会としてテーマに直接結びつくような活動は実施できなかった。

(4) テーマ4：干潟・ヨシ原再生の活動成果（※詳細はNL参照）

〈運営方針からみる取り組み状況〉



- ・河口部の干潟・ヨシ原再生箇所における**生き物のモニタリング調査**  ○
- ・関係者（漁業者、市民、学識、行政等）を交えた、今後の左岸河口部等の**干潟再生事業箇所における望ましい再生の姿の検討**  △
- ・**干潟現地見学会の実施**（河口干潟や人工干潟の対比、西浦などの干潟再生事例箇所などの調査の実施）  ○
- ・**ダム砂や川砂の実態調査や山地域との課題認識等の情報交換の実施**  △

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・天然干潟、人工干潟、河口干潟を見学でき、生き物調査を実施することができた。
- ・干潟再生事業の望ましい再生の姿の検討については、関係者間で意見交換を行ったが、十分に議論できていない。
- ・ダム砂の実態調査は実施できたが、山地域との情報交換等は次年度の課題である。

3.3 他部会との連携

〈運営方針からみる取り組み状況〉

- ・海部会では、**ごみ、流木の流出を減らすために有効な山での対策、川や里での対策、海での対策をそれぞれの地域で見つけ実践につなげていくため、まず出水後の状況を把握する調査を提案**  ○
- ・すぐに解決が難しい**干潟再生に係わる土砂等の問題についても、将来的な解決のヒントを出せるよう流域圏市民で一体となり考えていける場づくり（勉強会や現地見学会等）を提案**  △

〈今年度の活動成果と課題〉

- ・海部会での矢作川河口における出水時ごみ・流木調査を実施することができた。
- ・流域圏市民で一体となり考えていける場づくりのきっかけは用意できたが、継続的な活動が来年度以降の課題である。

■参考

| <テーマ> | <今年度の活動> | <活動の成果> |
|--|--|--|
| <p>ごみ・流木の問題</p> <p>被害軽減： 干潟・水辺のゴミ、 流木対策検討に向けた調査</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 10 回 WG (佐久島調査) ・ 第 13 回 WG (矢作川河口) | <p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ・流木調査結果 (2 回分) ・ ごみ・流木調査調査票 (改訂版) <p>〔意見等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 流木の樹種が判断できるような山の人も調査に参加してもらえると良い。 |
| <p>豊かな海の生物調査</p> <p>理想追求： 市民、学識等の様ざまな調査より学習・分析</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 11 回 WG (東幡豆、西浦) ・ 第 14 回 WG (矢作川河口) | <p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 干潟生き物調査結果 (3 地点×1 回分) |
| <p>海と人の絆再生</p> <p>人づくり： 心理的・物理的アクセス改善、 学校等との連携</p> | 活動なし | |
| <p>干潟・ヨシ原再生</p> <p>自然再生： 川と海の連携による 干潟再生</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 11 回 WG (東幡豆、西浦) ・ 第 12 回 WG (三河湾調査) ・ 第 14 回 WG (矢作川河口) ・ 第 15 回 WG (矢作ダム見学) | <p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 干潟生き物調査結果 (3 地点×1 回分) ・ 三河湾水質調査結果 (4 地点×1 回分) <p>〔意見等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 矢作ダムの堆積土砂を用いて人工干潟の造成実験ができると良い。 |